

【 庁 議 記 録 】

- 1 日 時 令和3年11月9日(火) 午前9時5分～午前9時43分
- 2 場 所 市長公室
- 3 出席者 市長 副市長 教育長 企画財政部長
 総務部長 市民生活部長 福祉保健部長 子ども家庭部長
 環境部長 都市建設部長 議会事務局長 教育部長
幹 事 政策室長
- 4 欠席者
- 5 会議結果

市 長 これより庁議を開催します。審議事項はありませんので、報告事項1「令和4年度一般会計予算要求の状況について」を説明してください。

部 長 令和4年度の一般会計の予算要求状況は職員人件費を除いて288億8,759万6千円、前年度当初予算比22億1,767万4千円、8.3%の増となっています。主な増額の要因は、市民ホール改修工事や調布都市計画道路3・4・16号線整備費(岩戸北区間)の用地取得費、新型コロナ予防接種の3回目に係る経費のほか、生活保護費や後期高齢者医療特別会計繰出の増等です。中期財政計画の見込みよりも、15億円強、超過している状況です。今後は、11月12日より各部ごとに政策調整会議を行います。

副市長 政策調整会議において、聞きたいことをあらかじめまとめておくので、その事項に基づいて、説明をお願いします。部長におかれては、1点目、市長の予算編成方針を受けて各部で指示した事項についてです。2点目は、市長の公約実現に向けて意識・配慮した事項についてです。3点目は、一般質問等の答弁の中で、議員との約束事項の照合状況並びに対処事項についてです。以上3点について、冒頭に説明をお願いします。課長におかれては、1点目、令和3年度の事業の進捗の検証とその検証を受けて予算要求に配慮した事項について、2点目は総合基本計画における2つのまちづくりの視点(「市民参加と市民協働の視点」及び「狛江らしさの視点」)を意識した事項についてです。3点目は、働き方改革プランを意識した事項についてです。以上3点について、説明をお願いします。また、令和3年度狛江市基本計画推進委員会提言書の内容も踏まえた事項等、フリートークの中で説明をお願いします。なお、各部にまたがる事項については、部長に説明を求め、個別の事業については、課長に説明を求めますのでお願いします。

市 長 続いて、報告事項2「令和3年度狛江市基本計画推進委員会提言書について」は、先ほどの行財政改革推進本部会議で了承されましたので、庁議とし

でも決定します。続いて、報告事項3「派遣職員の募集について」を説明してください。

部長 デジタル庁及び総務省自治大学校への派遣職員について、募集を行います。デジタル庁への派遣期間は2年間です。対象は一般事務で、勤続7年以上、かつ、令和4年3月31日現在、概ね45歳までの職員を対象とします。なお、申込後、デジタル庁による選考が行われます。デジタル庁では、地方公共団体の基幹業務システムの統一及び標準化、マイナンバー関連等の業務に従事し、派遣期間終了後は、デジタル庁と市の懸け橋となり、市のデジタル化推進において活躍することを期待しています。希望者は、11月19日までに各所属部長を通じて職員課長に申込みをお願いします。希望者との面談、所属課長等の意見を参考にし、選考します。次に、総務省自治大学校への研修派遣です。派遣期間は1年間で、一般事務の主任職又は主事職の女性職員で、令和4年3月31日現在、勤続年数3年以上、概ね35歳までの者を対象とします。自治大学校では、全国から集まる自治体職員と協力しながら(1)教務部、研究部、教授室のいずれかにおける実務研修並びに(2)基本法制A及び第1部課程の研修受講を通じて、それぞれの自治体での課題や先進事例を学ぶとともに、宿泊での研修を通じて、全国の研修生とのつながりができます。なお、派遣期間のうち約4箇月は宿泊研修ですが、残りの期間は通所も可能です。こちらは長期間の宿泊を伴うことから、考慮期間を1週間程度延ばし、11月25日までに希望者は各所属部長を通じて、職員課長へ申込みをお願いします。デジタル庁と同様、希望者との面談及び所属課長等の意見を参考にし、選考します。

市長 続いて、報告事項4「『令和3年度狛江市学習状況調査』の結果及び経年変化の分析について」を説明してください。

部長 本報告は、令和3年4月12日に実施した、「令和3年度狛江市学習状況調査」の結果と過去4年間でどのように学力が変化したのか、経年変化について各教科の領域別にまとめたものとなります。「令和3年度狛江市学習状況調査」は小学校は例年通り5年と6年で「国語」及び「算数」、中学校は全学年で「国語」、「数学」及び「英語」で調査を行いました。令和2年度から小学校で英語が教科化されたことに伴い、令和3年度から中学1年に「英語」が追加されました。ただし令和3年度についてはテスト実施という位置付けのため、生徒個別の結果のみの集計となっており、全体での集計には表示されていません。経年変化については、小学校は6年、中学校は3年を対象に分析しており、結果については、小学6年と中学3年に絞って説明します。まず、小学6年の5段階分布について説明します。国語では、学力偏差値55以上の段階4及び5の割合が全体の46%を占めており高くなっています。

一方、偏差値が34以下の割合が全体の8%となっており、全国より約1%高くなっています。算数では、学力偏差値55以上の段階4及び5の割合が全体の51%を占めており高くなっています。また、偏差値が34以下の割合が全体の9%となっており、全国より約1%高くなっています。領域別で見ると、特に「データの活用」が全国比で18%高くなっています。この結果から、小学6年になると国語、算数共に上位層と下位層が増加しており、二極化が現れ始めていると読み取ることができます。次に、6年の経年変化について説明します。国語では、令和3年度から、「伝統的な言語と文化と国語の特質」の領域がなくなり、3つの大領域となりました。領域別では、全国正答率と比較すると、全ての領域で全国正答率を上回っていますが、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」については、経年の変化としては下降傾向となっています。一方「読むこと」については、令和2年度より正答率が約2%低くなりましたが、経年の変化としては上昇傾向となっています。次に、算数の経年変化についてです。令和2年度は「量と測定」「数量関係」の領域がありましたが、令和3年度から「変化と関係」「データの活用」の領域に変更となりました。領域別では、「数と計算」は、昨年より約3%高くなりましたが、全国正答率は約10%上昇しました。その結果、全国正答率との差は約3%となりましたが、上昇傾向の推移となっています。「図形」は令和2年度とほぼ同様に推移しています。令和3年度から新たな領域となった「変化と関係」は、全国正答率より約6%、「データの活用」は、全国正答率より約10%高くなっており、狛江の正答率は全国と比較し、高い結果となっています。

続きまして、中学3年の5段階分布について説明します。国語では、学力偏差値55以上64以下の段階4の割合が38%で、段階5と合わせると全体の45%となっており、高くなっています。数学では、学力偏差値55以上64以下の段階4の割合が36%で、段階5と合わせると全体の51%となり、高くなっています。特に「数と式」「関数」の領域が全国比で約15%高くなっています。英語では、学力偏差値65以上の段階5の割合が全体の23%、学力偏差値55以上の段階4と合わせると全体の54%を占めており高くなっています。特に「書くこと」の領域では、全国比で23%、「聞くこと」の領域では、全国比で16%高い結果となっています。中学3年は全体的に段階4と5の上位層の正答率が高くなっており、分布のピークが3教科ともに段階4となっているのが他学年、全国平均との有意な差となっています。次に中学3年の経年変化について説明します。国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域では、全国正答率を上回っていますが、経年で比較すると下降傾向となっています。一方、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質」につい

ては、令和2年度より正答率は低くなっていますが、経年の変化としては上昇傾向となっています。次に、数学の経年変化についてです。数学の「数と式」「図形」「関数」では昨年度より正答率が下降、または同程度であったものの、経年の変化としては上昇の傾向となっています。特に、「関数」については、平成31年度までの結果を受け、各校での授業改善を重点的に行った結果、令和2年度と令和3年度の正答率の全国正答率との差が有意に広がってきています。次に、英語の経年変化についてです。英語の「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の領域では令和2年度より下降していますが、経年の変化としては、ほぼ同様の推移となっています。一方、「読むこと」の領域では昨年度から約7%下がっており、経年の変化としても下降傾向となっています。全体をとおして全国正答率の推移と同じような傾向を示していますが、全ての領域において全国正答率以上となっていることが確認できました。今回の結果を基に、各学校においては課題を見出し、今後の授業改善につなげていく必要があります。各学校に対して、調査結果の分析・検証の結果を踏まえ、授業改善を計画的に推進するよう指導・助言します。教育委員会でもこれらの調査結果が各学校で有効に活用されていくよう、校長会や指導訪問、教務主任会等の機会を活用して支援を継続します。

なお、総務文教常任委員会協議会に報告します。

副市長
部 長
教育長

学力調査の結果、全国的傾向と狛江が乖離している部分がありますか。

国語の「書くこと」について、若干弱い傾向があります。

学力調査の結果に関して、例えば、全国では一人1台タブレット配備は約50%程度であるという報告を受けています。一人1台タブレットの所持によりキーボードを打つ機会が多くなり、国語科「書くこと」は実際に書くことが減少した可能性があるという仮説を立てています。教育実践を省察し、今後の方策を立てます。

市 長
部 長

その他ありますか。

コマエ×ミライ×チャレンジについてです。11月8日に、コマエ×ミライ×チャレンジの表彰式を中央公民館地下ホールで行いました。本事業は、将来世界で活躍する人材を育成することを目的に、小学4年生から6年生までの児童を対象に、理数分野の自由研究において優秀な作品を表彰するものです。86件の応募があり、優秀賞18作品を選出し、表彰しました。この事業には、小田急電鉄株式会社、株式会社小田急SCディベロップメント、国際ソロプチミスト東京ー狛江、狛江青年会議所、城南信用金庫狛江支店、東京ガス株式会社及び東京たまがわロータリークラブに協力・協賛をいただきました。優秀作品については、11月10日から30日まで市役所2階ロビーに展示します。

- 市長 他にありますか。
- 部長 令和3年度昇任試験の実施についてです。申込状況は、主任試験57名、管理職試験9名、技能労務主任、主査、統括主査はそれぞれ1名です。
- 市長 他にありますか。
- 部長 こまえアレルギー防災セミナーについてです。11月7日にこまえアレルギー防災セミナーとこまえアレルギー缶バッジデザインコンテスト表彰式を開催しました。
- 市長 他にありますか。
- 部長 第45回狛江市民まつりの開催についてです。以前の庁議で既に報告しているとおり、11月14日に第45回狛江市民まつりを実施します。
- 市長 他にありますか。
- 部長 地域課題解決型子ども議会事業についてです。11月17日に地域課題解決型子ども議会事業を実施し、本事業の一連の流れとしてワークショップを通じて、子どもたちも地域課題の発見から課題の解決までの手法や主催者としての意見表明について、疑似体験することができました。今回出た課題についても今後整理していきます。終了後のアンケートでも、また参加したいとの声が多数見受けられました。
- 市長 他にありますか。
- 部長 狛江第六小学校の開校50周年記念式典についてです。11月6日に式典を実施し、子どもたち中心の式典で大変良かったです。昨年度よりは緩和されましたが、新型コロナウイルス感染症対策も行いながら、無事に実施されました。市長部局からも来賓として臨席いただき、ありがとうございました。
- 市長 他にありますか。
- 部長 スポーツレクリエーション大会についてです。11月6日にコロナ禍においても市民の運動の機会を創出するため、個人参加によるスポーツレクリエーション大会を開催しました。令和2年度の参加者は156名でしたが、令和3年度は、当日参加も含めて昨年度を60名ほど上回る212名の参加がありました。スポーツレクリエーション大会実行委員会の協力の下、事故もなく無事事業を実施できました。
- 市長 他になければ、以上で本日の庁議を終了します。次回の庁議は、11月16日午前9時00分から開催します。